

東海鉄道OB会報

第18号

平成21年7月



「十九女池を渡る新幹線」 関ヶ原支部 松 昌幸

目次

- 平成二十一年度
東海鉄道OB会表彰式・総会開催
東海鉄道OB会事務局…………… 2
- 平成二十一年度東海鉄道OB会基本方針…………… 3
- おめでとございます
平成二十一年春の生存者叙勲受章者…………… 3
- 地本・支団たより
春の京都御所を訪ねて
三河支部長 鶴田止幸…………… 4
- 支部の力を結集
鉄道展「トレインフェスタ」島田を開催
島田支団長 松下久雄…………… 4
- 総会をひと工夫、ジャズで盛り上げる。
岡部支団長 斉藤 博…………… 5
- 桜の開花時
家族と一緒にウオーキング開催
尾北支部 碓氷家久…………… 5
- みんなで楽しむ二十回目の増収旅行
四日市支団事務局長 岡村昌夫…………… 6
- なごやかな雰囲気でのゴルフ大会の開催
大塚地本 運営支部 山本右男…………… 6
- JR東海トピックス…………… 7
- 読者のひろば…………… 12
- 駅探訪／会報への寄稿、
文芸欄への投稿／要領／編集後記…………… 16

平成二十一年度 東海鉄道OB会表彰式・総会開催

東海鉄道OB会 事務局

平成二十一年度東海鉄道OB会の会長表彰式及び総会を、五月二十九日(金)十一時から名古屋マリオットアソシアホテルで開催しました。

会長表彰式及び総会には、来賓としてJRR東海の柘植康英副社長、取締役坪内良人総務部長、JRR貨物の取締役湖山正東海支社長、各副会長をはじめ東海鉄道OB会からは石塚会長、各副会長を、また専務理事、会計監査員、各地方本部の代議員と受賞者ら計四十四人が出席しました。

○表彰式

表彰式では、OB会の発展・運営に多大な貢献のあった特別功労章二名のほか二団体の代表、個人二十二名の方々に会長から表彰状と副賞を手渡し、その労をねぎらいました。



▲挨拶される石塚会長



▲会長表彰受賞者は次の通りです。(敬称略)

一 特別功労章

この章は、OB会の運営、発展に多大な功績があった会員に贈る栄誉で、本年度は次の二名の方が受賞されました。

静岡地方本部 豊橋支部 岡田保雄
名古屋地方本部 西濃支部 小島茂義

二 総合業務成績優良団体表彰

OB会の運営・発展のため優れた業績を挙げた団体に贈る栄誉です。

名古屋地方本部 四日市支部

三 会員増強優良団体表彰

OB会の組織強化のため、会員増強運動を積極的に展開し、その功績が顕著な団体又は個人に贈るものです。

東海東京地方本部 運輸営業支部
名古屋地方本部 陶都支部

四 役員功労表彰

〈静岡地方本部〉

長泉支部	渡辺正三	三島支部	石倉 孝
原支部	一杉 武	富士宮支部	佐野 学
身延支部	藤田一幸	焼津支部	秋山鉄雄
磐田支部	大塚忠一	浜松東支部	村田時男
湖西支部	守本伸治	飯田支部	今井孝二
〈名古屋地方本部〉			
三河支部	水野春夫	半田支部	平林憲二
名古屋東支部	渡辺 禎	守山支部	渡辺一巳
笠守支部	浜島 弘	各務原支部	松本 孜
尾張支部	西野昭一	垂井支部	山口信夫
尾北支部	堀部 繁	美濃太田支部	山口敏弘
恵那支部	近藤峻雄	津市支部	鈴木昭一

○総会

続いて総会に移り、平成二十年度に亡くなられた会員に対して、全員で黙祷を捧げご冥福を祈りました。

石塚会長は「今日、受賞された個人、団体の方々は、日頃からOB会活動に、特に尽力いただきお礼申し上げます。

皆さんは国鉄、JRを通して大動脈の鉄道輸送を支えられ、OB会活動及び地域にも貢献されていることに敬意を表したい。

老後を豊かに楽しく充実した人生を送ることが会の目的であり、組織のリーダーの熱意が、日頃の活動を通じ、奉仕の精神をもってこの輪を拡げたい。

本年度は、運動方針として五項目の基本方針に基づいて取り組むこととする。特に

一 会員の増強は、数の力を拡充するため、JRR、OB及び家族を含めて、仲間の支援をいいただき会員の確保に努める。



▲ご来賓のJR東海柘植副社長

新規会員については、勧誘の仕方を工夫し出来るだけ増やす。

二 JRへの協力は、厳しい状況のなかで、私達が出来る範囲でJRに協力したい。

三 情報の充実は、情報を丁寧に伝えるため、会報とホームページ併せて力を入れていきたい。

四 衆議院選挙は、間もなく行われると言われているが、我々の力を示す機会なので、ぜひ協力したい。

これらを遂行することにより、今後のOB会充実に向け協力をお願いしたい。」と話されました。

続いて、ご来賓を代表して、JR東海の柘植副社長は「JR東海は、リーマンショックによる世界同時不況等により、輸送量が落ち込み経営の収支が落ち込むなど正念場を迎えている。その中で、JR東海グループ内で相互利用しようというハイセントラル運動を展開し、協力を促してやるべき事をしっかりとやらうと、社内に呼びかけている。」

平成21年度 東海鉄道OB会基本方針

1. 会員の増強

- (1) JR退職者の新規加入確保
- (2) 未加入者の発掘と入会勧誘
- (3) 退会者の抑制

2. 支部組織の見直し

- (1) 地域支部の合併
- (2) 職域支部の強化、新設
- (3) JR貨物OBに対する受け入れ体制の検討

3. OB会活動の活性化と会員の福利厚生の充実

- (1) レクリエーション大会の開催
- (2) 講演会の開催
- (3) 表彰の実施
- (4) インストラクターの活用
- (5) 保険斡旋

4. JR東海及び関連グループへの協力

- (1) 旅行会の実施
- (2) さわかやウォーキング、〇〇祭り等の応援
- (3) 踏切事故防止運動への協力
- (4) 無人駅、SL等鉄道展示車両の清掃
- (5) 鉄道少年団への協力

5. 情報網の整備と会報の充実

- (1) 会報の充実(リニューアル)
- (2) ホームページの充実
- (3) メールを活用

OB会は、平成十七年の組織改編以来四年が経過し、その間東京、大阪に地方本部を設置し充実してもらった。

OB会には、駅周辺の清掃、ウォーキングの運営支援等幅広く活躍していただいています。現在会員数の減少が危惧されていますが、JR東海として会員増強には出来る限り協力し、今後のOB会の充実に向け、精一杯の支援をしていきたい。」と力強い言葉を戴きました。

議事は、平成二十年東海鉄道OB会事業報告、収支決算表についての説明を行い、会計監査員から監査報告を行い、原案通り承認されました。

引き続き、平成二十一年度東海鉄道OB会基本方針(案)と平成二十一年度予算案、役員人事について主旨説明を行い、これも審議の結果全会一致で承認され新しい年度を迎えることになりました。

おめでとうございませう

平成二十一年春の生存者叙勲受章者

東海鉄道OB会の会員で、平成二十一年春の生存者叙勲を受章されたのは、次の五名の方です。(敬称略)

瑞宝 単光章	瑞宝 単光章	瑞宝 単光章	瑞宝 単光章	瑞宝 双光章
湯浅 鎧	田中 俊晴	稲垣 時一	藤田 年樹	前川 守
(稲機支部)	(三島支部)	(三河支部)	(西濃支部)	(山東支部)

地本・支部だより

春の京都御所を訪ねて

二河支部長 鶴田正幸



▲御池庭にかかる樟橋

当支部は、四月二十八日親睦会を兼ねて、四月二十三日から四月二十九日まで特別公開されていた「京都御所」の見学に行きました。

当日は、JR東海バスの協力を得て、会員二十六名と会員の家族、知人及び友人を加えて四十二名が参加し、好天にも恵まれ楽しい日帰りの旅をしました。

二十八日は、公開最終日の前日でしたので、見学者も多く、頭越しでないと見られないのではありませんかと心配しましたが、宮内庁が一回に入る人数を調整していたため、ゆつくり、しっかりと参観することが出来ました。

今回は、天皇・皇后両陛下のご結婚五十周年を記念して、例年の範囲に加えて儀装馬車二号と皇后宮常御殿、飛香舎、朔平門、玄違門等数多く公開されました。

会員の皆様の中には、私達と同様、御所を見学された方もあるかと思いますが、どの建物も大きく、建ちも高く、屋根は椀皮葺で金色の金具で飾られ威厳のある建物です。また、外側は半葺や板の引戸で、建物の中の間仕切りは、ほとんどが襖で、障子はあまり見当たらないし、灯りは照明や行燈を考えると、昔の人・高貴な人は暗い所で、冬の暖は炭火を思うと、かなり寒い生活をしていただなかと感じました。

御池庭は、見えては素晴らしい、丁度つつじなどの花が満開で、忙しく廻る中にもウツトリさせられました。

帰路は、綾小路きみまろの漫遊を楽しみながら十九時過ぎ、みんな元気で岡崎駅西口に到着し、次回を約束して散会しました。

支部の力を結集 鉄道展「トレインフェスタ島田」を開催

島田支部長 松下久雄

島田市民の念願であった、バリアフリー完備の島田駅構上駅舎、南北自由通路開通に続き、今年三月十八日には南北駅前広場が完成しました。

この島田駅竣工を記念した、鉄道展「トレインフェスタ島田」を開催しようという話が、昨年八月、鉄道OB会島田支部と島田鉄道ファンクラブの間で持ち上がりました。

早速、島田支部役員会に回り、JR東海静岡支社、島田駅長、OB会静岡地本等の指導のもと、島田市、市教育委員会、商工会議所、観光協会、商店街等の協賛を得て、更に島田鉄道ファンクラブの協力で鉄

美術展



▲オープニングでのテープカット



▲鉄道模型を育にした支部会員

「トレインフェスタ島田」の小冊子に広告を掲載して集めようと、役員

場者に配布する「トレインフェスタ島田」の小冊子に広告を掲載して集めようと、役員

場者に配布する「トレインフェスタ島田」の小冊子に広告を掲載して集めようと、役員

場者に配布する「トレインフェスタ島田」の小冊子に広告を掲載して集めようと、役員

場者に配布する「トレインフェスタ島田」の小冊子に広告を掲載して集めようと、役員

道OB会島田支部主催による鉄道展「トレインフェスタ島田」を開催する運びになりました。
この鉄道展には、子供たちや家族が鉄道の歴史に触れて、学び楽しんでもらうこと、また各地から多くの鉄道ファンを集めることにより「島田市の活性化につなげよう」と市や市の関係機関から大きな期待が寄せられました。

これを受けて、市関係機関と一体となって「トレインフェスタ島田」実行委員会を発足させ、会合を重ねる中で、如何に多くの人が集まってもいい展示品を集め、展示品の集め方、開催費用の捻出方等半年間に二十数回の会合を重ねました。

その結果、平成二十一年三月十九日から二十一日までの三日間、市の公園一で入場無料で開催することにし、約千数百点の鉄道資料・器材の展示、八十車種以上の鉄道模型、ミニ2Sの運転等を決め広く告知しました。

全員が市内を中心に企業や商店等をお願いして歩き回りました。この厳しい情勢ではありましたが、私達の開催趣旨や鉄道展を成功させようとする、真剣な取り組みに、多くの皆さんの理解をいただき協賛してもらいました。

開催初日の三月十九日午前九時三十分、鼓笛隊の演奏でセレモニーが始まり、二百人超の来場者が見守る中、市長、教育長等の挨拶、祝辞が続き、関係者のテープカットで華々しく幕が上がりました。会場は、全国各地からの参加者も加え、連日大勢の入場者が詰めかけ、三日間で当初予定を大幅に上回る五千三百七十七人を数え、イベント会場の他、市内各地も賑わい大成功でした。

島田市や市の関係機関から、市の活性化に大きく貢献したと大変感謝されました。

鉄道OB会島田支部一同、力を結集した成果だと自負するとともに、これからも更にJR東海の利用や利用促進に努めていきたいと考えています。

総会をひと工夫 ジャズで盛り上げる

副委員長 斉藤 博

当支部では、会員が一堂に会する総会（平成二十一年四月二十五日開催）を盛り上げようという趣旨の検討した結果、アトラクションとして女性四人のボーカルグループ「スイング4」によるジャズコンサートを開催することに決定した。

議事終了後、懇親会開催までの二十分間を利用、曲目は、昔懐かし「ムーンリバー」（映画「ティファニーを朝までかき」、コーリールンバ、一時の過ぎゆくまに）（映画「カサブランカ」）等、

誰もが知っているスタンダードナンバーの数々を披露。

最後は「鈴鹿の怪」で全員が合唱し、中には手振り足振りよろしく、踊りだす会員も見受けられるほどで、短い時間ではあったが、おおいに盛り上がり好評を博し、支部総会の在り方に一石を投じたと自負している。

出席率も、趣向を凝らしたかいあって、例年を一〇ポイントも上回り、五割を達成する等大成功に終わった。



▲会場を魅了した「スイング4」

桜の開花時 家族と一緒にウォーキング開催

専任支部 碓氷家久

毎年、桜の開花時に合わせて、ウォーキングを実施していますが、今年は四月四日と決定し開催しました。

今回は、名鉄石仏駅から岩島駅までの間で、五条川堤の桜で水面を染める桜道コースを計画しました。今年は開花時期が例年より早く、三月十九日頃開花宣言が出され、このままと伝言は、落花時期



▲桜とともにほころぶ笑顔

になつてしま
いそうで、一
時は時期を早
めようか、散
る桜も良いだ
ろうと自問自
答しました。
しかし、運
よく天候不順
が重なり底冷
えのする日が
続いたため、
当日は最高
（満開）の天気
に恵まれ、お
孫さんの参加
もあり総勢

二十一名となりました。
みんなで、わいわい賑やかに見事な桜を満喫しな
がら歩き、途中桜まじりの行事「のんぼり洗い」、山
車巡業を乗りながら約六キロのウォークを堪能
しました。
当支部は、名鉄沿線に各ブロックがあり、それぞ
れブロック毎に家族を含めたウォーキングを計画、
実施しています。

みんなで楽しむ

第二十回目の増収旅行

四日市支部事務局長 岡村昌夫

今回が二十回目となる増収旅行を、三月十三日から
二日間二十九名の参加を得て、「川湯温泉と谷瀬の吊

り橋への旅のバス（J）東海バス旅行を実施した。
参加者の中には、初めて六十代の男性会員が二名
参加し、今後の継続が危ぶまれていた旅行会に、希望
の持てるものになった。

第一日目は、雨の中の出発となったが、紀勢自動車
道を経由して一路紀州路へと向かい、鬼が城で昼食と
散策を楽しんだ後、世界遺産に登録されている国宝熊
野湊王社に参拝し、早めに温泉宿へ到着した。

二日目は、雨足は弱まったが、天候の回復は望めな
い様子で、紀州路から大和路へ通じる山岳道路をひた
走ることになった。
車窓からは、前日

からの降雨で水量
が増し、至る所に見
られる滝が、一段と
爽快な水飛沫を上
げていた。
お目当ての十津
川村には、日本最長
の二百九十七メー
ートル、高さ五十四
メートルの鉄線吊
り橋がある。小雨
の降る中、この吊橋
を渡ろうとみんな
で挑戦したが、この
日は、風が強く吹い
て、高所恐怖症の者
は自然と足が踏み、
渡り切ったのは女
性一名と男性五名
のみで、橋の途中で
リタイアした人が
ほとんどだった。



▲増収旅行を楽しむ会員

大和路の峠に差しかけた頃、今度は降雪に見舞
われ、雨と雪雲：この二日間の旅行会で滅多にお目
にかけない経験をした。明日香では、大和名産の柿
の葉ずしと「三輪素麺」に舌鼓をうち大和の味を堪能
した。
帰路に驚くころ、天候も回復しみんなで楽しんだ
旅行会を無事終えることが出来た。

なごやかな雰囲気 でゴルフ大会の開催

大阪地本 運営部長 山本岩男

第八回大阪地方本部のゴルフコンペを、陶都信楽
の新宮ゴルフコースで開催しました。回を重ねる毎
に参加者は年々多くなり今回は三十八名でした。

開催日の四月十七日は、早朝より雨が降っており
ましたが、参加者が集まる時分には、完全に雨もあ
がり絶好のコンディションとなり、ゴルフ場までの
沿道には名物の「陶器の里」が迎え、クラブハウス
で、久しぶりに顔を合わせた先輩、後輩、同僚との
話に花が咲き、なごやかな雰囲気を醸し出して大会
を行う事が出来ました。

日ごろの練習成果やまた運動不足も成績に反映
した？にもかかわらず、声だけは「ナイスショット」
「ナイスオン」などと、若々しい歓声が周りの山々に
こだましていました。会食を兼ねたパーティーで次
回の再会を約束し、楽しい一日を終えることができ
ました。

成績は次の通りです。（敬称略）

- 優勝 小林 八郎
- 準優勝 吉岡 義祝
- 三位 宝壁 政人

JR東海ト

ピックス

リニア開発本部

より営業線に近い仕様の車両へ

山梨実験線試験車両改良

山梨実験線では、現在、超電導リニアのさらなる長期耐久性の検証や、最新の設備仕様に反映させるための様々なデータの取得を継続して行っています。この4月より、新しい形状へ改良した試験車両による走行試験を開始しました。これまでに得られた各種のデータを基に、平成14年に製作した試験車両2両について、より営業線に近い仕様の車両となるように改良しました。走行性能は従来車両と同等としつつ、客室空間をより広く確保するために先頭部の長さを短くし、また客室居住性向上を旨として車体断面の上部を従来の円形から方形にしています。今回改良した2両を含む4両編成で走行試験を実施し、改良した車両の走行性能を従来車両と比較検証します。

今回改良した車両の試験データは、実験設備更新・延伸後の走行試験へ投入する車両の形状へ反



▲改良した試験車両

映していく予定です。山梨実験線においては、設備更新・延伸工事が本格化していますが、工事と試験行程の調整を図りながら、引き続き走行試験を安全・確実に実施していきます。

JR東海の社内誌「おれんじ」4月・6月号の記事を抜粋して掲載しています。

財務部

平成20年度決算を発表(4月28日)

平成20年度は、鉄道事業においては、N700系¹のぞみの毎時1本運転をはじめとした利便性の高い転交サービス²の提供に努め、さらに21年3月にはのぞみ³日本タイヤの導入をはじめとしたダイヤ改正を実施し、一段と利便性を高めました。

鉄道以外の事業においては、一橋浜中央ビル⁴について、各事業の円滑な運営に努め、加えてシェアール名古屋⁵タカシマヤ⁶について商品力・販売力の強化に努めました。また20年10月15日をもって日本車輜製造株式会社を連結子会社とし、両社の総合的な技術力を向上させ、企業価値の持続的拡大を図るための諸検討を進めました。

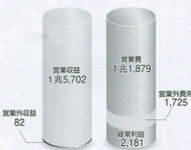
これらの諸施策に取り組んだ結果、当社単体の運輸収入は、年度後半以降の急激な景気悪化の影響を

【平成20年度連結決算のポイント】

営業収益	1兆5,702億円(+107億円)
経常利益	2,181億円(△581億円)
当期純利益	1,260億円(△337億円)

(1)内は前期増減

営業収益、営業費等の構成(単位:億円)



(注)左記金額は連結決算数値です

平成21年度も引き続き厳しい経営環境が想定されます。こうした中、社員一人ひとりが緊張感を持って、安全・安定輸送の確保を最優先とし、より質の高いサービスの提供、業務執行全般にわたる効率化・コスト削減等に取組み、経営体力の強化に努めることが必要です。

受け、減収となったものの、連結グループ全体では増収減益の決算となりました。

◆ JR東海トピックス ◆



このたび、社員研修センター（愛知県名古屋市長三島社員研修センター（静岡岡興三島市）を統合し、現在の三島社員研修センターの敷地内に新しく最大約1100人の研修が可能な研修センターを建設することとしました。

新しい研修センターは、さらに充実した社員教育を実施するために、新幹線N700系車両や在来線313系車両の実物大訓練装置、約220m×4線（新幹線用2線、在来線用2線）の実習線など、



▲外觀イメージ

最新の実習設備をそろえる他、教室や実習室の配置を工夫し、各教室に最新の講義システムを導入します。

また、ディスカッションスペースや談話室を積極的に設置し、社員同士の交流がより一層促進される環境を整える他、屋上の緑化や省エネルギー設備を導入するなど、環境にも配慮した建物となります。新しい研修センターは今年の秋に着工し、平成23年度に開所する予定です。

人事部

平成23年度開所予定

新しい社員研修センターの建設について

東海鉄道事業本部

「さわやかウォーキング」10000回達成！

名古屋地区の「さわやかウォーキング」は、平成3年10月6日に東海道本線・関ヶ原駅でスタートして以来、平成21年3月15日の枇杷島駅開通で10000回目を迎えました。

当日は、昨年12月に橋上新駅舎となった枇杷島駅の駅前広場にて、朝9時より中村東海鉄道事業本部長はじめ地元自治体、ウォーキング参加のお客さまにも加わっていただき、すし玉割りや10000回記念セレモニーなどのイベントを開催し、過去最高の参加となる6050名のお客さまからも祝福を受けました。また、これまでの感謝の気持ちと



▲10000回記念セレモニーの様子



▲コース上で案内をする名古屋駅社員

10000回を記念して先着1000名さまに相品をご用意。さらにゴールでは先着3000名さまに10000回記念のバッチを差しあげ、多くの方にお楽しみいただきました。

なお、このコースを企画した名古屋駅では、多くの参加者が安全にご参加いただけるよう、ホーム上の安全確保やコーラス中の案内社員配置など万全の体制を整え、TOICAの臨時発売や子供制服撮影会を実施し、営業活動やお客さまとのふれあいも大切にしつつ、駅社員一丸となって10000回記念の「さわやかウォーキング」に取り組みました。

◆ JR 東海トピックス ◆

紀勢本線全通50周年キャンペーン

三重支店

紀勢本線は、昭和34年7月15日に三木里～新鹿間が結ばれて全線開通を果たしました。今年は全通50周年を迎えることから、4月1日～9月30日までの間「紀勢本線全通50周年キャンペーン」を実施しています。

紀伊半島の形をモチーフにしたハート型ロゴマークや「結ばれ愛され50年」というキャッチコピーには、難工事を経て全通した紀勢本線が、地元やお客さまに支えられて50周年を迎えられたことへの感謝の思いが込められています。

期間中には、全通記念日7月15日の「亀山～白浜間」記念列車運転、全96駅対象の駅名しりとりラリー、懐かしい硬券の記念入場券・乗車券の発売や今年世界遺産登録50周年の熊野古道をコースに取り入れた全通区間での「記念さわやかウォーキング」等様々なイベントを開催します。

沿線は、名所・旧跡や温泉地など豊富な観光資源にも恵まれておりますので、ぜひこの機会にご家族・お友達をお誘いの上出かけください。



紀勢本線全通

▲ロゴマーク



紀勢本線 全通50周年

全通50周年キャンペーン

平成21年4月1日(水)～9月30日(金)

- | | |
|---------------------|-------------|
| ツリモノ | 駅名しりとりラリー |
| 記念乗車運賃 | ※硬券・乗車券 |
| 【車内付記念品75セント】 | 記念グッズ(硬券)発売 |
| 駅イベント | 50年の学び屋 |
| 記念駅 4月1日(水) 10時00分 | ※記念イベントも各駅別 |
| 亀山駅 4月15日(日) 10時00分 | ※詳細は各駅案内 |



列車でまわろう、紀伊半島。

▲ポスター



いつでも誰でも気軽に参加できる

さわやか ウォーキング

2009
SUMMER

- 参加費無料 ※一部のコースを除く
- 予約不要
- 駅がスタート!

8/30日^①まで、好評開催中!



名古屋地区
3コース



静岡地区
5コース



木曽・柿其渓谷 (十二瀬駅)



伊天島・夕景 (真由駅)



新企画
夕涼み
ウォーキング
開催!

熊野・買田湾 (買田駅)



桑原自然体験林・森林鉄道 (上松駅)



三島・源兵衛川 (三島駅)



さわやかウォーキングに、おトクなきっぷ。

※写真は全てイメージです。

JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>



青空フリーパス

おとな2,500円 こども1,250円



休日乗り放題きっぷ

おとな2,600円 こども1,300円

開催については、JR東海の駅にある専用パンフレットをご覧ください。



読者のひろば

傘寿を記念して

二人の海外旅行「発刊にあたり」

三浦支部 大川一雄

国鉄を定年退職、第二の就職までの間を利用して、退職記念に交通公社の企画による、初めての海外旅行ヨーロッパ二週間の旅に参加、これに味をしめ以後年に一回、第二の職場に迷惑をかけないことを前提に、七十歳までは海外旅行、以後は国内旅行と決めた。

幸い健康にも恵まれ七十五歳まで計二十三回の海外旅行を楽しむことが出来た。

最初の二回は緊張した旅であったが、慣れるに従い心に余裕が生まれ、旅の楽しみも増してきた。いろいろな事に遭遇した。怖い目に遭ったこと、失敗したこと、感激したこと、人々の情け、助け合い、これが旅であった。

今の人達からすれば、決して多くはない海外の旅だが、私達の年輩からすれば多いほうだと思ふ。外へ出て改めて日本を見る時、日本は平和な国だと思ふ。

ヨーロッパを旅し、伝統の深さを知り、アメリカのバイタリティーに溢れた国民性、東南アジアの素朴な国々、文明から離れた砂漠の国アフリカ、大国の恩恵に翻弄され、今なお内戦に明け暮れる国々もある。しかし小国といえどもそれなりに伝統を守り生きている。

日本はいい国だとつくづく思うが、最近の日本は乱れ切っている。原因はなぜだろうか、教育のしからしむことだろうか、広く門戸を開き外人の流入のせいか、政治の貧困か、いずれにせよ世界に冠たる日本の安全神話は崩れつつある。あらゆる箇所に監視カメラが設置されている。嘆かわしい限りである。

海外旅行に際しては、旅行会社から旅の行程表が送られてくるので、出発前あらかじめ観光箇所を調べておき、現地知識を得るようにしていた。その下調べをしているのも旅の楽しみのひとつである。この日程表を元に旅のしおりを作り、それに観光箇所で見つけた所をメモ書きをしておく。もちろん写真はたくさん撮る。後でその一冊を見るのも楽しみである。

八十歳傘寿を記念して、ちよつと気恥ずかしい旅の記をまとめてみた。

往時の恩返し

三浦支部 西尾 功

国鉄明知線の各駅に、国鉄職員として上司のご指導や地域住民の多くの皆様方にご助力を賜り三十五年間の永い間、奉職が出来ました。在職中は、国鉄増収のためお客様の対応に精進を続け、現在八十五歳の高齢老人としても、決して往時を忘れることが出来ません。健康であるため、地域活動

で恩返しが出来ることが感謝しています。

明知鉄道は、昭和六十年旧国鉄明知線を引継ぎ明知鉄道株式会社となり、往時どおり、職員各社により営業等献身的に努力を続けて居られ、国鉄退職者として何かお手伝いを思い続けて居りました。

中でも私達の地域に新しい駅設置が決まり、駅名の公募が行われ、度々地域内の歴史研究にも精進して居りましたので、往時、地域の発展に寄与された八百有余年前の「極楽寺」の存在を思い出し、明知鉄道の増収に「極楽駅」を応募したところ決定しました。

これは全国唯一の駅名で、北海道の「幸福駅」のように、田舎の駅でも全国で評判になり、増収の一助になればと祈念して居ります。

弱肉強食

長後支部 宇津木弘利

自分が内勤機関士で勤務中、ある列車が湖南地区を運転中、トンビが前のガラスを割って飛び込んできた。よく死ななかつたものだ。口先は案外強いようで、機関区に驚いた。うすくまっていたものを保護、機関区で飼うことにした。

初めはなかなか顔を慣らなかつたが、小魚や肉の切れ端で飼いならし元気がなった。当時機関区に食堂があり、従業員のおぼさんが残飯を与えてくれている姿を見ると、食事を判るのか羽をバタバタさせて催促する、その様子が可愛い。乗務員は出勤の時、乗務から帰った時、必ずこの鳥に挨拶して心の安らぎを覚え、何か温かいものを感じていた。機関区の守り神のような存在となった。

そんな中、誰かがハトを捕えてきて、この籠の中

へ入れたところ、アツという間に目玉だけ残して食べてしまった。

また、誰かが青大荷(ヘビ)を捕えてきてこの中に入れた、するとヘビもトンビも共に逃げて近寄らない。そんな中、ヘビは網の間から何処かへ行ってしまった。夕方は、へびも食べると聞いていたが、生物は全て他の生物に依って生かされていると保健委員の時に聞いたが、人間だけは例外か？すると人間は他の動物を食べ、他の動物に提供しない。自然界の原則に反した患者？

私の部屋から、車庫がよく見える、ある日スズメが一羽飛んできた。それを見て残飯を投げてやった。するとスズメは、一度は逃げたが何処にいたのかやってきて、エサより遠くでしばらく眺めていたが、次第にエサに近づき一粒を口にして飛び去った。

そんなことをしている中、一羽から二羽、四羽、五羽となってエサが不足、ガラス戸の向こうで催促するように飛び回るスズメが何か可愛くなくてエサを倍に増やした。やがて、何処から来たのが、昔は山にのみいたキジバトが餌に不足してか、住宅地に来るようになり、人間を恐れずスズメの中で入ってきた。スズメはすぐ逃げた一寸離れた所で獲まじそうに様子を見ていた。キジバトが去るとスズメがやってくる。可哀そうだと思いエサをやると、またキジバトが来て追い払う。ある日の事、キジバトが食事中、今度はカラスが一羽来た、キジバトは逃げたがすぐ戻りケンカが始まった。でも所詮カラスが強くてハトは逃げた。

生物界における強いもの勝ち、人間以外の生物は常に身の危険の中に必死で生きて行くのだと思ふと、人間は幸せに思えるのだが、今、年金生活の我ら小さい額だが有難い。年金でも最近増税が相次ぎ国のためと思うが、税の公平のためとの事だ

だが、法人税の減税は何か割り切れないものを感じます。

これも弱肉強食？

たた今「ハイジーン」年生

西濃支部 藤田年樹

私が現在住んでいる大垣市は、今から三百八十八年前、元禄二年の秋、俳聖松尾芭蕉が、約五ヶ月かけて六百里の旅をこの大垣で終えた。世に名高い奥の細道結びの地として、歴史的な文化の香りを守り続ける市民感情から俳句の盛んな都市です。市では、市内の中心を流れる水門川沿いに、芭蕉が詠んだ代表的な二十句の句碑と解説書が二、二千口にわたって建てられており、また投句箱も数カ所に設けられ、観光客や一般市民の遊歩道となっています。

その他には、毎年十一月には全国俳句相撲大会が開催され、全国各地から愛好者が集まり、東西に分かれて横綱優勝を目指して競い合います。ところで我が西濃支部OB会でも、永壽支部長の提唱で、OB会の会合毎に、熱心に各種同好会「クラブ」の発足に尽力され、その結果、平成十八年四月に各種クラブが結成され、支部長の率先入会に刺激を受け、徐々に会員数も増えつつあります。

今までの年一回の総会だけでは、会員の融和が図られなかったのが、各種クラブが出来たことにより、会員相互の親睦が急速に深まり、支部の活性化にもつながっています。

各種クラブのある中で、私は大垣市が俳句の盛んな所から俳句の会へ入会しました。今まで、俳句と言えば芭蕉の有名人一古池や蛙飛

び込む水の音くらいしか知らなかったのが、簡単だと甘く考えて会へ飛び込みました。然し毎月の講習会に出席して、全然素人の私には俳句の「季語」も分からず、ただ五七五の文字の羅列にすぎず、頭を捻っているだけでした。

また、大正時代の人間は、言葉使いについて先生からこれは現代仮名使いだ、この作品は歴史的仮名使いだと教えてもらうのですが、その違いがなかなか飲み込めず文法の難しさを感じての毎日でした。

自分はまだ俳句の道には入門どころか、一年くらいたった今でも、門前をうろろろしている状態で、毎月一回お互いに俳句を発表するのですが、それに対して、先生からの批評を聞きながら同じものを見て、人によって感じ方がそれぞれ違うものだと思つて、自作の句に勝手に自己満足しています。

これから、老人のボケ防止と、老後の楽しみにと思つて続ける覚悟です。私はまだ若いけれど「魔人」ではなく「俳人」一生として、駄作を作りながら楽しんでいこうと思つています。

— 回 旧 —

上野都支部 宮坂健吾

かつては満蒙支配の生命線と言われた南滿州鉄道の、新京→大連間を最高時速二二〇キロで疾走し世界の一流を誇ったのが、満州のシンボルとも言われた特急「あじあ号」であり、まさに東亜の盟主として満州に君臨した日本の象徴でもあった。

ところで機関士として、この「あじあ号」に乗務し一杯ハンドルを握りしめ、広漠たる南滿州の

廣野を時には朝、時には夕に疾駆した一人がKさんであった。

しかし突然あの思いもしなかった日本敗戦の憂き目に合せ、漸くにして故郷の諏訪に帰ったKさんは、ほいほいと国鉄に採用されたが、機関区勤務を…とする願は叶えられず飯田線北飯駅々務掛を命ぜられた。

ところが、生来技術職一筋であったKさんにとつては、営業職は余り不似合っていた。そこで赴任時に、早稲上りに嘆息した結果、踏切警手として同駅構内所在の踏切番舎で執務することにされた。

かくしてKさんは、ただ踏切警手として真摯に職責を果たしていたが、六七年過ぎたころではなかったかと思う。列車が踏切通過の度に白旗を掲げ、精根込めて職務を全うしていたKさんの脳裡を常に掠めて来たのは…過ぎた日のあの南満洲の曠野に点在した、踏切での安全を確保し、通過する「あじあ号」の機関士に対し精一杯白旗を振って列車を見守ってくれた真摯な踏切警手たちの姿であった。―「よし、自分も折角踏切を守るのなら、日本の幹線東海道本線の踏切で執務し、あの日の時「あじあ号」を守ってくれた踏切警手たちに応えよう」との思いがKさんに高まってきた。意を決したKさんは、早速奥さんや子ども達に心中を膝々と話して漸く了承を得たので、上司に上申しの結果浜松駅に転動した。

時を前後して、私もこの駅から転出してしまったので、往時の記憶は定かではないが、Kさんは立派に職責を全うして職を去られたことである。短期間ではあったが、私にとつてはかけがえのない良友であり、先輩でもあったので六十有余年過ぎた今でも忘れることが出来ない旧友である。

S/L保存 十八回

簡部支部 原 充

昨年暮、OB会で半田支部の河合様が「武豊線物語写真集」を発刊したという紹介があった。

表紙のC-112六五五は、昭和四十五年廃車になるや、直ちに半田市から地元経済発展、文化の交流に寄与したS/Lとして、保存の申請があった。

同時に数年後、半田市長になられた竹内様が、国鉄時代に直接、釜をたき、ハンドルを握り線内を往復した愛着もので、活躍した勇姿を保存したいと熱望されていた。保存が実現し、引き渡し式にも参加した思い出のS/Lである。

国鉄を退職して二十数年が過ぎ、保存当時の記憶が蘇り、久しぶりに胸が熱くなる思いで、早速この本を買い求めた。

四十年前の当時は振り返って見ると国鉄は、戦後復興の担い手として「輸送力の増強」が叫ばれ、複線電化、車両の近代化が進んでいた。

全国津々浦々には、二万キロに及ぶ営業路線に、六千両を超えるS/Lが活躍していたが、近代化の波に押されて、かつての陸の王者として君臨した勇姿は、順次廃車、解体の憂き目となり、この地区では長野工場で解体していた。

解体を惜しむ声が全国各地からあがり、本局に各線でご貢献したS/Lの保存の要望がでた。

本社では、百年史の編纂、S/Lの動態保存を進め、地方の要望に応え統一の契約書が通達となって、地元で保存許可が下りるようになった。

当時、修史を担当していた私に「お前がやれ」と指名があり、保存業務を推進した。内容は「地区に貢献したS/Lは…」「運搬、保存経費は…」「保存会は…」など細部にわたり打合せ、条件をクリアし

ないと保存できなかった。運転部、営業部と協議を進め、保存契約に万全を期した。

市町のS/L保存の記憶をたどつてみるとC-111は半田市、七宗町、C-112は大垣市、明智町、最高速度を記録したC-113は名古屋市、関西線でお召列車を牽引した「貴婦人」の愛称があるC-115は社員研修センター、またD-151は、蒲郡、岡崎、安城など十七市町で十八回が保存され地域発展に貢献し、歴史を刻んだ勇姿が見られる。

一世紀にわたって親しまれたS/Lが、一管内で十八回も保存されているのは、珍しいのではと思う。この十八回のS/Lは、保存会などの努力によって守られ、国鉄発展の歴史を担い続けた勇姿を失うことなく、永遠に輝くことは誠に喜ばしい限りで、共に歩んだ時代を振り返る意義があるので、なにかと思ふ。

OB会報誌リニューアルに伴う 家族写真の募集について

東海鉄道OB会 会報編集係

東海鉄道OB会報は、会員及びご家族の間でより身近に親しんでもらうため、次号から会員の投稿のページを設け、家族（一緒に旅行等）或いはお孫さんと一緒に遊ぶ楽しい写真等を掲載しますので是非投稿をお願いします。

応募要項

- 写真：手札サイズ一枚
- 写真のタイトル
- 写真の説明：八十字以内
- 所属支部名・住所・氏名、電話番号を明記して下さい。

短歌

一時間 車を北へ 進めたり

過疎の町並み 長く連なる

庭先を 全速力に 駆けたりき

逝きし飼犬 脳裏より消えず

浜松支部 原 哲

漆黒の 宇宙に浮かぶ 青い球体

繁繁と見る 我ら住む星

湿布菜 貼りてほしきと 思うとき

猫の手借りても 届かぬ背中

岡部支部 伊藤博司

ひな鳥の 日増しに声も 力づき

巣立ちを待ちし 親子の愛で

草とりの 木陰を望み 今日の日々

初夏の訪れ 自然を肌で

鶴田支部 鈴木さよ子

中空に クレーン車描く 三角形

幾何学好きな 少年なりし

幼らが 帽子に受けある さくら花

遠き未来を 抱ひがごとく

上野支部 竹内滋一

魚屋の 棚に魚の ならぶ日は

晴れと信じて 濯ぎ物干す

診察を 待ちいる人ら 会話なく

窓ぎわに咲く 白梅の花

沼津支部 山田寿男

米寿の妻 微笑む遺影に 手を掌せ

老いない貴男 七人の曾孫

百余たび 亡夫通りませ 夢記録

二人で歩んだ 幸せの日々

四日市支部 古月月代

石路を 水玉模様 に染めながら

法多山道 花吹雪舞う

嶽持てば 歳を忘れて 里手を

植える畑を 深く耕す

蒲野支部 池谷秀夫

俳句

城壕に したれ柳の 揺れ止まず

長閑なる 庭や静けき 写経場

菜の花や 首堤防 切れた跡

春疾風 下校の子等や びしょ濡れに

風と掃く 簾に遊ぶ 落花かな

幸せは ほんのいつ時 花は葉に

春風や 駅に新設 エレベーター

席譲る 乙女笑顔 風薫る

風涼し 浄几移して 写経かな

法話聞く 眠るひとり 寺涼し

名古瀬港支部 伊藤鈴登

春風や 駅に新設 エレベーター

席譲る 乙女笑顔 風薫る

風涼し 浄几移して 写経かな

法話聞く 眠るひとり 寺涼し

名古瀬港支部 伊藤鈴登

春風や 駅に新設 エレベーター

席譲る 乙女笑顔 風薫る

風涼し 浄几移して 写経かな

法話聞く 眠るひとり 寺涼し

名古瀬港支部 伊藤鈴登

深呼吸 五臓六腑に 染む若菜

庭石の 溶けてゆきそな 炎天下

早起きし 襟にひんやり 春浅し

卓上に 百科事典と ぼけの花

春一番 飛ばされまじと ゆりかもめ

離れ住む 孫思いつつ ひなかさる

今分史に 昭和の祭り 生きてゐる

今の世に 欲しい心の 温暖化

前身は 安けららしい 腕時計

健康に 生きる証に 老いの耳

深いわけ 生まれも育ちも 瓜二つ

桜咲き 春が来たかと 人動く

ありがたや 定額給付 旅に出る

立候補 良いことばかり 出来ませす

おたやかな 暮しを願う 老いの坂

暮寿すぎで 生命線は 当てにせず

五臓六腑に 染む若菜

庭石の 溶けてゆきそな 炎天下

早起きし 襟にひんやり 春浅し

卓上に 百科事典と ぼけの花

春一番 飛ばされまじと ゆりかもめ

離れ住む 孫思いつつ ひなかさる

今分史に 昭和の祭り 生きてゐる

今の世に 欲しい心の 温暖化

前身は 安けららしい 腕時計

健康に 生きる証に 老いの耳

深いわけ 生まれも育ちも 瓜二つ

桜咲き 春が来たかと 人動く

ありがたや 定額給付 旅に出る

立候補 良いことばかり 出来ませす

おたやかな 暮しを願う 老いの坂

暮寿すぎで 生命線は 当てにせず

五臓六腑に 染む若菜

庭石の 溶けてゆきそな 炎天下

早起きし 襟にひんやり 春浅し

卓上に 百科事典と ぼけの花

春一番 飛ばされまじと ゆりかもめ

離れ住む 孫思いつつ ひなかさる

川柳

伊勢支部 吉田国男

三島次朗

小川 勇

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

沼津支部 山田寿男

